

館長だより第4号(2017/10)

風土記まつりについて

全国各地で紅葉の便りが頻繁に伝えられる今日この頃ですが、この時期に行われるのが秋祭りです。

県立紀伊風土記の丘においても来る11月19日(日)に恒例の風土記まつりを開催いたします。この風土記まつりは特別史跡岩橋千塚古墳群とその価値を県内外の多くの人々に知ってもらうとともに、文化財に親しみ、楽しんでもらう機会を設けるという趣旨で平成22年度から開催しています。

ここでまず昨年度の様子を手元の資料から見てみましょう。平成28年度第7回風土記まつりでは、和歌山市消防局が「起震車による地震体験」、和歌山市東消防署の「消防服を着てみよう」、泉南カルタ普及実行委員会による「カルタ遊び」、和歌山県立自然博物館の移動水族館、などの実地体験がありました。

もっともブースが多かったのがものづくり体験でした。大阪府泉南市埋蔵文化財センターによる「ミサンガづくり」、きしわだ石器同好会の「石器をつくろう」、奈良県川上村森と水の源流館の「落ち葉のネックレスづくり」、有田川町教育委員会の「古代の鏡をつくろう」、県立近代美術館の「消しゴムハンコでいろんな形を作ろう」、県立博物館の「缶バッヂづくり・お面のぬりえ」などが見られました。

県立図書館は、旧柳川家(重要文化財)で大型絵本、紙芝居を用いた「おはなし会」が午前中2回行われ、和歌山県警音楽隊の演奏、和歌山東警察署による「交通安全についてのお話」、和歌山大学紀州経済文化史研究所による「和歌祭御船歌」の公演があり、多くの観衆を魅了しました。

また販売関係では、県立紀北農芸高校の「旬の野菜や果物」、麦の郷関連施設・つむぎ共同作業所による「弁当・パン・コロッケなどの販売」、大阪府立弥生文化博物館の「オリジナル缶バッヂ」、「きらきらフォルダ」、泉南かるた普及実行委員会の「カルタ」、森と水の源流館の「ポストカード販売」などがありました。またゲームでは県立近代美術館による「展覧会出品作品によるアートゲーム」、当館による「風土記の丘競技会」が行われました。

本年は第8回を数え、年々参加される団体も増加しているようです。従来から参加いただいている博物館及び団体については、多くが御参加という返事をいただいております。また今年度から新たに加わる八尾市立しおんじやま古墳学習館、NPO法人歴史の語り部などの団体もあり、ますます活況を呈すると予想されます。なおこの日は関西文化の日にあたり、当館はこの行事に協賛しており、この日のみ特別展の入館料は無料となっております。風土記の丘ボランティアの会による古墳公開及びガイドも行われます。

ぜひ風土記の丘にお越しいただき、すがすがしい秋の休日を風土記の丘で、風土記まつりと秋の特別展示をともに存分にお楽しみいただきたいと思います。